家庭内感染予防について

家庭内での感染を防ぐことは、大切な命を守ることにつながります

家庭内感染予防の基本はこれ！！

①手洗い・手指消毒　②咳エチケット　③換気　④共有部分の消毒
⑤集団感染を防ぐ行動をとる　⑥もしもに備える

①手洗い・手指消毒

特に、小さなお子さんは汚れた手で口や目などに触れていることもあります。帰宅時に玄関先で、食事の前、トイレの後、鼻をかんだ後など、こまめに保護者の方が声掛けし、一緒に楽しく正しい手洗い・手指消毒をしましょう。

②咳エチケット

咳エチケットをしましょう。

顎マスク

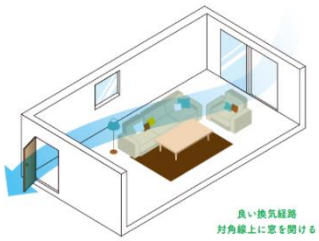
鼻だしマスク

わざわざマスクを外して話す

会話するときはマスクをしましょう。
マスクは不織布製の物が望ましいです。
また、正しくマスクを着けることも重要です。

③換気

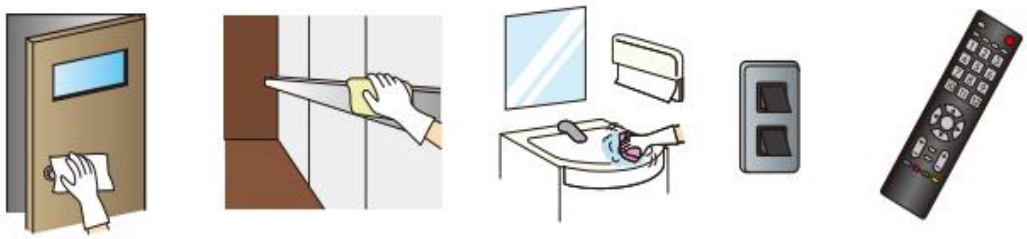
定期的に（１時間に１回、可能であれば１０分窓を開けて）
換気を行いましょう。対角線上に窓を開けると換気率がアップします！



④共有部分の消毒

見えないウイルスや細菌はドアノブやリモコン等にも付着している可能性があります。素材に合わせてこまめに消毒を行いましょう。（素材によっては消毒薬の種類により変色や劣化を招くことがあります。確認の上ご使用ください。）

（別紙：新型コロナウイルス『感染予防対策』～食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒～　参照）



東京都　新型コロナウイルス感染症自宅療養者向けハンドブックより

⑤集団感染を防ぐ行動をとる

不要不急の外出は控えましょう。同居家族以外との会食は避けましょう。

⑥もしもに備える

消毒液やマスク、解熱鎮痛剤、イオン水やゼリー飲料などの備蓄をしておきましょう。
また、体調不良者が出た場合の生活空間、動線の確認などについて、家庭内で話し合っておくとよいでしょう。

《発熱や咳などの症状が家族に出た場合の看病のポイント》

1.部屋を分けましょう（食事はできるだけ自室で。食器用洗剤で洗いましょう）
2.感染者のお世話をする人は限られた人で行いましょう。
　お互いにマスクをして、こまめに手洗い・消毒をしましょう。
3.共有場所・よく触る所を素材に合わせて消毒しましょう。
4.汚れたリネン・衣服は洗濯し、ごみは密閉して捨てましょう。
5.家庭内でタオルの共有はやめましょう。
6.日中はできるだけ換気をしましょう。

（別紙：感染症 自宅療養者向けハンドブック 自宅療養をする方へ 同居の方へ ［ 第１ 版 ］参照）

＜受診に関して＞

発熱外来をご利用ください（詳しくは病院 HP をご確認ください）
発熱外来対応時間以外では、
新型コロナ総合相談センター（0570-051-280）へのご相談をお願いします。
救急外来では、発熱者の対応は原則行っておりません。
（緊急を要する状態と医師が判断した方を除く）

公立丹南病院

2023.12